（大正十三年三月三日第三種郵便物認可）
昭和十一年十二月五日（土曜日）
磐城新聞
第四千七百九十四號 （二）

夕刊
磐城新聞
十二月四日發行
定價一ケ月金六十五錢（郵稅共）
廣告料金 五號一行金六十錢
編輯印刷兼發行人 柏木哲
發行所 磐城新聞 合資會社
（日曜祭日翌日休刊）
振替東京一〇八五五六五番

童話

夜の鳥 上

坪田譲治

ある日、善太が三平に言ひました
『三平チャン、アラビヤンナイトつて話知つてるかい！』
三平は知りません。そこで、善太はその中のシンドバッドの冒險といふ話を聞かせてやりました
――シンドバッドは船に一杯商品を積込んで、第二航海へ出て行きます。島から島へ渡つて、ある一つの美しい島へつきました。その花が咲き實がなつてゐるので一つの大きな／＼圓いものを見つけました。真白で、うはべがツルツルして居るのです。周圍は五十歩もあります。つまり、それは鳥の卵だつたのです。だから間もなく翼の大きさ二百メートル四方もある、その卵の親鳥が飛んで來ました。それはルークといふ鳥なんです――
それからシンドバッドはそのルークの足に自分の身體をくゝり付けて、他の島へ飛んで行くのですが、それにしても、三平は驚きました。二百メートル四方の翼をもつてゐる鳥なんて、今、世界の何處に居るでせう。それから三平は氣をつけて、空を眺め／＼しました。空を飛んでゐるのは、二三羽の雀が、でなければ一二羽の鴉くらいなものです。時には鴿の飛ぶこともありましたが、自分の身體を足にくゝれさうな鳥は一羽も見ることが出來ません
ところが、ある日、いや夜のことです。もしかしたらルークは夜飛ぶことにしてゐるかも知れないと、星のキラ／＼光つてる空を二階の窓から眺めつゞけて居りました。すると、どうでせう。幾百といふ星の光を隱して、スーッと空を飛んで行くものがありました。シンドバッドにも、ルークがお月様を隱して飛んで來たとあります

今日の訓へ

哲名山人

人は環境を造るものであり、また、環境に左右さるるものである、そこで英雄は環境を作るものであると謂はれる、だが一將功成りて萬卒枯ると、前者は能動的であり、後者は受動的である唯、先驅者となり、犠牲者となるの別あるのみ。プラトーンも『其國の愛國心の有無は戰爭によつて知らる！』と、言はれてゐる

所感

珠雲 小野務平

内憂外患事頻々
燮理方勞佐命臣
國際論交紛糾甚
唯當愼重計更新

秋

篠川幹子

誰かゞ淋しいとさゝやいた
それは靜かな秋だつた
鈴虫が
短い命を鳴いて居る
お月様がぽつかりと
澄んだ瞳で下界を
みつめていらつしやる
もの靜な秋だ
誰かゞ無だ無だと呻いた
それは枯れてゆく秋だつた
彼は淋しい木々の末路を
知つて居た そして
人間もさうだと言つた
世紀末的な人生觀だ

折にふれて

近藤千文

○秋の日に兒童らをつれて顔知れる茶やへは戸より聲かけにけり
○吾前は口をきくこともなき人のすべれぬ我をみちびきくるゝ
○上手をぞともしみ心うせゆきてしたしみわくはたのしかりけり
○たのしみに興ずるなくて別れむかみちびきくれしひとゝきの友
○塀こえて障子の前にみたるものまあかき布は目にしみじみぬ（雪の朝）

バス孃の名所案内 九

エッチ・エス生

皆さま左手に見えます廣い芝生の地は池の原といふ五百一千坪の地域に雲仙ゴルフ場を設けて御座います九ホース三千二百ヤードの延長を有しコースが非常に富んでゐますので外人に喜ばれ東洋一の稱が御座います皆さま向ふの海は有明海で御座います、其の向ふに紫色の大きな山緩きの様に見へるのは天草鐵島の一部であります、そしてあの海の中に平たい屋根の樣に見へます島は湯島と申します、切支丹戰爭の大立物天草四郎が此南方の原城址に立籠る前天草と島原に散在してゐた幹部連中が集つて謀反の談合を致しましたので其れ以來この湯島を談合島とも申します
皆さまこれから暫くの間島原半島に於ける切支丹の歴史を簡單に說明させて頂きます、我國に於て始めて切支丹が布敎せられましたのは織田信長が佛敎徒の專横を嫌つたために切支丹の信仰を許し、且つこれを保護いたしましたので忽ち全國に普及いたしました。就中九州が最の盛んで永祿五年は島原藩主有馬義直は弟に當る大村藩主大村純忠の勸めにより宣敎師ルイアルメータを招いて口の津敎會堂を建てさせました、之れが島原に於ける最初の切支丹布敎で御座います、天正四年になりますと島原藩主は夫人と共に洗禮を受けられましたので上の好む處下これを見習ふのたとへ通り島原にはすばらしい勢ひで切支丹宗徒が增加するに至りました

小說

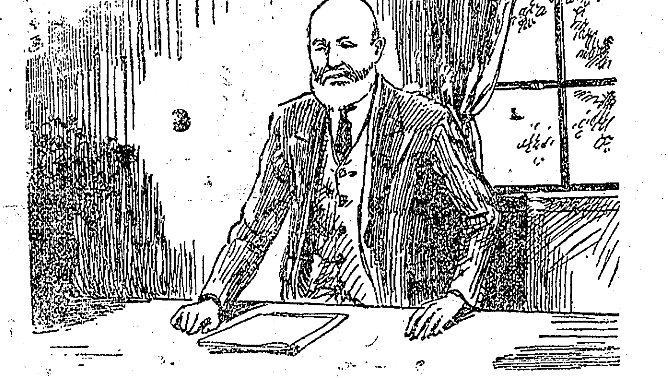
高橋是清

(184) 松浦泉三郎作 佐々木今朝吉畫

鎭靜まで （二）

12月5日 △始て冠位十二階を定む（推古帝一一）△一揆民茂左衛門磔刑さる（天和二）△石川島造船工場設立（嘉永六）△參謀本部を置く（明治一一）

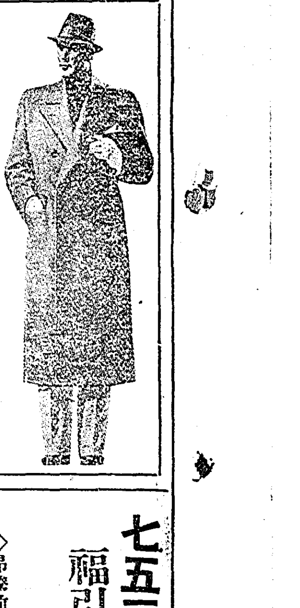
これより先――
是清は二十二日朝、田中相首代理として、赤坂離宮に伺候、天皇陛下に拜謁仰付けられモラトリアム公布の事に關して委曲上奏、樞密院へ諮詢の手續きをとつた
倉富樞密院議長は御諮詢に對して奉答するため直に精査委員會を開き、政府側から是清以下各關係官が出席した
是清が立つて今回の非常時に際して、モラトリアム施行以外には適當の方策のない事を大要次の如く說明した
『今や財界の動搖は益々甚だしきを來し、若しこれを打捨てゝおきましたなら非常なる危機に頻するものと見ねばなりません。然してこれが救濟案に關しまして臨時議會を召集して政府の意のあるところを告げ、その協賛を得るを以て最も立憲的と信ずるものであります。然し臨時議會召集までには多少の時日を要する事であり、然も一面刻下財界をこの儘にしておく事は到底事情に於ては許されぬことであります。ために政府案種々その手段に就いて愼重審議を重ねました結果とは本以て最も適當な手段を信じたものであります、對即ち或ひは本案を以て、外信用の毀損をおそれ、又は國內商工業の機能に、障害を與ふるおそれありとなすもありますが、然し、今回の財界動搖は、經濟界、若しくは財界に於ける事實に依るものでなく、全く人心の動搖から生じた、表面的の現象でありますから對外關係におきましても、本案のために大きな影響ありとは信じられませぬ。又國內に於ける商工業に對しても多少の影響は免れぬにしましても、財界動搖の長きに亘る惡影響に比較しますなら、それは極めて輕微なものであると信ずるのであります。依つて政府は樞密院におきましては、政府の意のあるところを御賢察あり、まして速かに本案を可決されん事を切に希望して止まぬものであります』
そして政府提出の原案は可決され直に樞密院本會議に付議された
本會議も精査委員會の決定通り全員一致を以て可決確定したので、直に帝國憲法の定むるところに依り金錢債務の支拂延期及び手形等の權利保存行爲の期間延長に關する件として御裁可を經、勅令第九十六號として同日の官報號外で公布されたのであつた
その公文は次ぎの如きものであつた
第一條、昭和二年四月二十二日以前に發生し、同日より同年五月十二日迄の間に於て支拂をなすべき私法上の金錢債務にして勅令を以て指定する地域內に住所又は營業所を有する債務者の負擔するものに就ては二十一日間其の支拂を延期す、但し債務者が其の地域外に他の營業所を有する場合に於て該營業所の取引に關する債務についてはこの限に在らず
第二條、右に揭ぐる支拂に就ては前條の規定を適用せず
一、國、府縣其他の公共團體の債務の支拂
二、給料及勞銀の支拂
三、給料及勞銀の支拂のためにする銀行預金の支拂
四、前號以外の銀行預金の支拂にして一日五百圓以下のもの
第三條、手形其他之に準ずべき有價證券に關し昭和二年四月二十二日より同年五月十二日迄の間に於て權利保存のためになすべき行爲はその行爲をなすべき時期より二十一日間內に之をなすに因りて其効力を有す
附則、本令は公布の日より之を施行す



植田の新名所
常磐線植田驛下車
鴫の湯鑛泉旅館
臨海館
植田町より十餘丁（自動車ノ便アリ）
鮫川川口に位置し四季の風光に富み眼下に太平洋を見晴し、白砂に緑の松林は實に天下の絕勝地の定評あり交通の最も便宜の位置にある鴨の湯鑛泉へ！
鮫川橋より當館迄は（モーター）舟の連絡貸ボートあります。

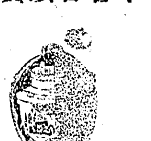
入院應需（自炊の便あり）
明雲堂眼科醫院
田町（平三丁目裏川岸通）（電話六六九）
『看護見習募集』

Refinetex
リファインテックス
……極寒向特選生地……
OVERCOAT オーバコート
CASHMERE カシミア （カシミヤ駱駝）
VELOUR ヴエルーア （柔きメルトン）
KERSEY カージ （厚無地絨）
SACKCOAT サックコート
WORSTED ウーステッド （梳毛絨）
VICUNA ヴイキウナ （メルトン地）
TWEED ツヰード （スコッチ）
紳士御誂服
（御報參上）
大崎屋洋服店
平町銀座通り 電話96



新築落成
外科（內臟外科及一般外科）
X光線科、花柳病科
內科、小兒科
岩手醫學士 萬波勳
院長 前田淸美
（病室完備 自炊ノ便アリ）
前田醫院
植田町本町 電話一二四番

日ノ出ムシカマド
福島縣指定管
普通下水混凝土管
尾州陶管、火鉢類
磐城セメント販賣
日本型セメント瓦製造
森下安吉商會
營業所 平町中學校坂下 電話六九八番
販賣店 平町胡摩澤通り



石城郡平町田町五番地
千代田火災保險株式會社代理店
公社債株式 現物賣買 電話仲介
丸三株式店
常盤光威
電話四六番
小店員募集（十五、六才）委細面談

銘木（床ノ間材）
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
「一變せる勉强振りを、ぜひ一度お試を乞ふ」
㋐織田材木商店へ
福島縣平町 電話平四六〇番
營業種目……建築木材一式 銘木・ベニヤ板 秋田産杉四分板 建具材・便利瓦……

七五三と歲末贈答品
福引付大賣出し
十二月三日ヨリ七日間
◇昂騰前に仕入れた最安値品と今冬の珍柄を豐富に取揃へ大提供
金三圓御買上毎に福引券呈上
福引景品 一絹布座布團五枚、銘仙、新興大島一布團綿、御風呂敷、御手富貨
歲末贈答用品大提供
御婚禮花嫁殿方用品特賣
…御贈答にはこれが一番…三井の商品券…
七五三祝着特賣 記念寫眞撮影券付
金十五圓以上御買上 キャビネ判三枚組呈上
金三十圓以上 御買上 合
撮影は……十二月二十八日（各地寫眞館にて御利用出來ます）
おつとめ品
流行新柄ニコ／＼ 一圓均一
半天地 五十錢
正紺フトン地 七十八錢
松山絣 一圓六十錢
新柄メーセン 二圓五十錢
パラマウント着尺 一圓八十錢
全最上品 二圓七十錢
村山絣大柄小柄 五圓均一
レーヨン小紋 一圓五十錢均一
名古屋帶 一圓五十錢
本製江戸褄 十二圓
訪問着 十一圓
御召 七圓
錦紗小紋 八圓
色無地羽織地 八圓
丸帶 六圓
黑羽二重紋付 八圓
仙臺平袴 十圓
㊂三井呉服店
平町 電話三八 二八四

開院
皮膚科
泌尿器科
性病科
專門
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平町田町舘山內醫院跡
江尻醫院
電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎
入院隨意

互融會事業近況
融通（自十月一日至十月卅一日）報告 現在
會員數 五、〇〇七口
世帶數 三、四三八戸
積立金 四一、三六六、二錢
融通口數 七七四口
融通金額 四八、六六七、二七
融通金回收額 一〇、四三六、二〇
一、社會公共事業及慈善事業ヘノ奉仕
一、精神修養講話會
一、會員ノ吉凶慶弔
一、會員相互見舞
一、人事相談及婚姻ノ媒介
一、診療救血ノ補償
一、稅金ノ代納事務取扱
一、會報發刊
一、勤儉日積立金ノ奬勵
一、小資本金ノ相互融通
太平火災海上保險株式會社中央代理店
石城中小商工互融會
事務所 平町鍛冶町稲荷小路一番地
小名濱方部 小名濱町古湊
湯本方部 湯本町天王崎
菊田方部 植田町台町
相双部支 原町東一番町

第一次の市議選擧は花どき前に行ひ度い
早手廻しな野心家の理想

平町の市制實施上不可缺の條件たる平窪村との合併問題は最近同村に於ける合併調査委員も決定によつて一段促進された形ちで各方面から從來以上の關心を以て成り行きを刮目され始めた、而して今後諸事順調に進捗すると、兩町村の態度決定の上は縣から主務省に市制實施の申請をなし、之れが申請を受けた當局では縣に諮問の上最後の決定に出るもので斯う定石通りに進めば當然の歸結として現在の町會が自然解消し之に代つて大平の自治史上燦然たる光輝を放つ第一次の市會議員三十名（人口五萬人未滿の定員）の選擧が行はれるわけであるが、其の時期に就ては現町議の滿期たる五月末を以て執行すると實際運動は恰も行樂の三春に當り、さらでだに改選の叫び高き折柄、之に關係無き諸會合に至る迄、李下に冠的警戒から自然見合す事となり折角の花見氣分を根本から臺無しにし、而も爾後改選毎に之を繰り返さねばならぬ重大な關係があるので愈よそこ迄行けば記念すべき第一次の市會議員選擧は花に先立つて三月頃にし度いと云ふのが少くとも候補者と云はるる程の人々が懐いて居る理想らしい

大町と鎌田を結ぶ新自動車道路着工
明年度一杯に竣功

將來は町の貫通道路になると云はれて居る平町大町通りから鎌田町に至る延長六百七十八米の新新道開設工事は愈よ此程着工目下土盛り工事を行つて居る　總工費千三百圓、幅員八米（約四間）、明年度一杯に竣功する豫定であると

百十二の工場に働く職工千七百名
平署管內最近の調査

平署最近の調査にかゝる去る十月末現在の管內工場數は職工十人未滿のものは雜工場四十を筆頭に七十三、十人以上三十人未滿のものが機械器具工場九を筆頭に二十七、三十人以上五十人未滿が八、五十人以上となると僅か雜工場四　この合計百十二に上つて居り、更にこれら工場に働く職工數は雜工場の四百四十名を最多として

男一、二五〇名　女四七〇名　計一、七二〇名

このうち年期職工が男百八十八名、女三百四十名、計五百二十八名あると

平窪隣保員候補　平窪村の來年度隣保員候補者は此程抽籤で左記三氏に決定

上平窪大須賀金治　下平窪鈴木勇　大室松崎嘉久

平外七ケ村の農產品評會
來る十六日から

平外七ケ村聯合農產物品評會は來る十六日から三日間平町で開かれるので平窪村でも十日迄の締切りで出品申込みを受付けて居る

松崎氏寄附　平窪村大室松崎茂氏は亡父末松翁の遺志により此程金十圓を小學校へ寄附

大久村優勝旗獲得
四倉武德分會發會

武德會四倉分會發會式は昨三日午前九時から四倉セメント演武場で行ひ劍道は左記成績で大久村が優勝、優勝旗を獲得した、尙劍、柔、弓の支部長賞は

劍道—大久村木田茂一
弓道—四倉町佐藤倉之助
柔道—同大木繁

（劍道優勝試合）大久二三　四倉二二　大浦二一　大野一八　久の濱一八　草野一五

運轉手試驗合格者

此程縣下で行はれた自動車運轉手試驗合格者中郡下の分左の如し

（運轉免許）內郷矢吹源二郎　平町山添清正　同大和田法保　同鮑澤信晴　（就業免許及就業地變更試驗）平町矢吹源二郎　湯本野口利秋　小名濱薄羽健次　平町竹內公藏

明年度施工されるか？
小濱（植田）九面（勿來）兩漁港
船溜工事費として各八萬圓　近く農林省に申請

遠洋航海の大型漁船出入りから過般來設備の擴充運動を起してゐた植田町小濱並に勿來町九面の兩漁港については昨報の如く縣當局に於て明年度工事區として採擇近く農林省に申請する事となつた

小濱港　地元漁業組合では目的の達成から既報の如くこれを擴充して『植田漁業組合』と改稱、今後は植田町と提携して運動を續けると云ふ、明年度豫定工事は漁船々溜でこの工費八萬圓、縣當局に於て縣下第一次工事として當路に申請する筈であり、更に防波堤並に浚渫工事も計劃されて居る

九面港　港內の擴張並に浚渫工事の促進を叫んでゐた矢先き縣土木課大內技師一行の實踏によつて好轉し、もの、專門家から『天然的良港である』と推擧されながら從來未改修な港灣だけに縣當局でもこれを認めて明年度第三次區として船溜工事に小濱港同樣八萬圓を申請すると云ふ、尙十五萬圓乃至二十萬圓を投ずれば理想的であらうと云はれて居る有望漁港である

村田郡視學視察　郡擔當村田郡視學は今四日より左日割で視察を行ふ

四日平第三　平窪　五日錦　勿來尋　六日植田講堂落成式臨席　七日玉川青年校會閉臨席

健康診斷の結果新に疑似六名隔離
チフス禍、警戒嚴重

チフス豫防のため出張中だつた縣衞生課中曾根技師は『今後一ヶ月間は注意すべきだ』の警告を發して昨三日午後歸縣した　皆川平細菌檢査所長と分擔してこれが發生地たる內郷、好間、湯本、箕輪の各町村民に對し健康診斷を行つた結果判明した疑似者六名は直に隔離した　尚箕輪大利の初發患者は保菌者であつた事が判つたと

鈴木訓導入選　平第三小學校訓導鈴木定光（三九）氏は東京上野公園美術館に開催の第一回大潮會展覽會に油繪『赤い羽織を持する少女』を作品し首尾良く入選した、因に同會は全國初中等學校圖畫教員の技能向上を圖る會である

町村長總會
來る十日開催

石城町村長支會總會を十日午前十時から平町會議事堂に開き左記諸件を附議する

税制改正指示　臨時補給金、入除隊兵慮禮廢止、明年度豫算

求職兒指導
平第二校の試み

平第二校では明五日午後一時より就職希望兒童一同を集め職業選擇に對する知識を授け併せて社會的教育の一端を授くべく左記の指導をなすと

◇校長訓話
◇四家平職紹所長講話（現在就職希望者の傾向、女子職業の需要と供給の關係　本年度希望者に對する見解）
◇海野指導係より（就職者卒業後に於ける實際指導の實例　女子職業の社會的位置に就て）

卒業生希望　同校就職希望兒は卒業生百二十九名中五十名で電話交換手を筆頭に電話事務員一七（內鐵道電話交換手一）洋裁師匠和裁師匠各一〇　給仕八　見習奉公七　女工　看護婦各三　會社事務員　店員　結髮業　ミシン外交員各二　美容師　教員　技術見習　琴三味線師匠　生花師匠　保姆各一　の十八種、又就職希望地は平二八　東京一五　未定三　日立　千葉　京都　縣內各一

受檢七十名
開眼手術檢診

既報、來る十八日平第三小學校で行はれる開眼手術第一回檢診の平町受檢者は今四日迄左の如く合計六十七名に上つた

田町、新川町、仲間町各四名　材木町四　三名　北白銀町三名　大町十五　紺屋町、三丁目二名　五丁目、鎌田町、舊城跡、月見町、北目、鐵道官舍各一名　計六七名

入山從業員慰安會
明夕自治會館で開催

入山和洋樂部では明五日午後五時半から自治會館で從業員慰安を兼ね同所に第七回從業員慰安音樂演奏會を開くが番組左の如く平町鈴木佐喜勇社中が後援特別出演す

1和洋合奏『六段』全員　2『新高砂』『松繁八重子外　3ハーモニカ合奏『君が代　東京ラプソデー』入山リードバンド　4童曲『姫松　さくら　傘舞臺　竹の子』鈴木郁外　5『黑髮』比佐光子外　6『秋の七草』武田ヨシ外　7『日の暮』鈴木佐喜勇外　8ハーモニカ合奏『吹雪の峠　ハイキングの唄』　9『秋の言葉』生田日幸子外　10『鐘ヶ岬』黑澤千二子外　11童曲『あひるおこと　黄金の鈴』松繁美惠子外　12『八千代獅子』大越八仁子外　13長唄『越後獅子』杵屋米八外　14『松竹梅』梅原道子外　15『松上の鶴』高田芳枝外　16『秋の曲』平松ヲシ外　17『こんくわい』中田雅章外　18ハーモニカ合奏『デザートキヤラバン　數へ歌』　19和洋合奏『千鳥の曲』　20『松風』塚本素童外　21『歌謠曲』飯淵繁三郎外

第四小學校愈よ建築
あす町會で敷地答申案決定
明年度に豫算計上

平町多年の懸案たる第四小學校建設に關してはさきに町からこれが建設豫定敷地を新川以南、崎町地內に決定、縣に許可申請したがこれに關する伊藤知事の諮問案答申に就いて明五日午前十時から急施町會を開く　總敷地九千坪、さきに地主二十三名に對し手付金百圓で買收整理をなし來る二十六日買收費三萬餘圓を支拂ひ直に埋立工事に着手、建築費は明年度豫算に計上される

遊廓敷地買收
組合三氏が
來る七日境界決定

平町鎌田町遊廓敷地二千四百五十坪の町有地を此程經營者たる阿部治作　檜山謙　長谷川德代の三氏から買却願が町役場に提出されたので町では來る七日午前九時から隣接地主六名立會の下にこれが土地境界を決定する

川前校增築落成式　川前小學校の校舍增築落成式は昨三日午前十一時から擧行したが工費八千圓、二階建四學級で山間方部としては立派なものだと云ふ

若者、服毒自殺
平町生れの四倉武久

平町新川町一四生れ武太郎三男當時神奈川縣川崎市居住印刷工四倉武久（二四）は去月二十九日夜神奈川縣足柄下郡湯河原町宮上三河屋旅館主三橋マキ方で流行藥自殺を遂げた、原因不明

負債整理設立協議

本郡には未だ負債整理組合が一ヶ所もないので縣では更生課齋藤囑託を今四日派遣、午前十時から平團体事務所に郡下關係筋を招きこれが設置促進に關し協議した

知らぬ間に—山林炭に變る
轉賣また轉賣に
安藤金次氏ビツクリ

平町中町木炭商安藤金次氏は此程自己所有の三坂字後擧地內山林二町歩を見に行つた處、何時の間にか伐採されてみんな木炭になつてゐるのに驚き平署に屆け出たが、理由はからだ　この山林は以前同村下坂永、捨七の亡父久吉所有のもの、久吉が生前中これを抵當に石川郡某氏から借財したが同村草野福藏が買ひ戻して久吉は更にこれを買ひ戻すと云つて死んだのを捨七（四二）はお構ひなく去る八月中これを同村田子佐吉に更に田子は同村草野忠義（四九）に賣り飛ばしたものだが、はやこの山林は福藏と取引關係にある前記安藤氏の手に歸して居り、それを知らずに草野忠義はドシ／＼炭にしてゐたものと判つた目下同署本田部長係りで關係者の取調べを進めて居る

天氣豫報
（小名濱測候所發表）

今晩は西の風晴
明日は北西の風晴一時曇

家事科講習會

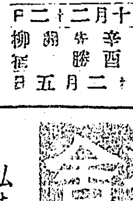
郡女教員會の家事科講習會は既報の如く明五日午前九時から平第二校に開き縣女子師範附屬小學校訓導根本キク女史の講演ある外總ゆる家事關係の物品を蒐集統制した『衣食住展覽會』を併せ開くと

自轉車泥　泉村瀧尻飴行商吉田義富（三四）は去十一月二十五日午後十時頃小名濱町字西古物商鈴木金彌方の納屋から自轉車一台を竊取不審に檢擧取調べた結果外二件の盜みを自白

お披露目　忘年會藝者續々出現。昨日は湖月から『小艶』と名乘つてしやなりしやなりとお披露目

五日（小名濱測候所發表）
日出　六、三一　月出　後一一、一八
日入　四、二四　月沒　前一一、一五
滿潮　前九、〇五　後七、五五　干潮　前一、四五　後二、三〇

舊十月二十二日　土曜　辛酉　先勝　柳宿　新十二月五日



諸判定通信　東京市本郷區湯島四丁目　高島易斷總本部　神誠館

▲一白　志堅く行ひ正しき時は何事も通達する吉日▲二黑　失な失ひ見も得ざる樣な日祖業を守が安全▲三碧　極端の整理は却て風ほを生ず程合ひが肝要▲四綠　追々と頭をもたげ來る日急げばつまづきあるべし▲五黃　內に在れば從らに事故多し外交が寧ろ有利▲六白　英氣を養ひ後日に備ふべき日突進は害あり▲七赤　奇策妙案なろうするときは却て窮地に落込む▲八白　思ひがけぬ事の生じ易き日人事け總て注意▲九紫　引籠き幸運なる日氣根の限りを盡すべし

廣告

おでん　一平
出前迅速　電話二六三番

限定承認及請求申出ノ公告

被相續人福島縣双葉郡龍田村大字井出字向ノ內八十二番地吉田了ノ家督相續人トシテ昭和十一年十一月二十日平區裁判所ニ於テ其相續ノ限定承認ヲ爲シタルニヨリ右被相續人ノ債權者及受遺者ハ來ル昭和十二年二月十日マデニ其ノ請求ノ申出有之度、若シ右期間內ニ申出ナキトキハ其債權ハ辨濟ヨリ除斥セラル可ク右及公告候也

昭和十一年十二月四日
福島縣双葉郡龍田村大字井出字向ノ內八十三番地
吉田了家督相續限定承認者
吉田武雄

チフス內服ワクチン
（三共製）
大人（一人分）小兒（二人分）二〇セン
有効期間＝服用後一ヶ年
三共株式會社製品總代理店
西村屋藥局
電話三番

旅館　大東館
東京上野驛前
下谷郵便局通角
電話下谷（83）六十七七番
私は平町出身ですから特に郷里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人　比佐棟雄